

かけがえのない暑い 5 日間

奈良女子大学理学部生物科学科 3年 鈴木絢診

(配属先：感覚神経回路形成研究チーム)

私が理化学研究所発生・再生科学総合研究センター、そして感覚神経回路形成研究チームで過ごした 5 日間は、想像以上に充実し、まさに「暑い夏に熱いサイエンス」をしたと言えるものでした。最初は、専門知識もあまりなく、全く知り合いのいない場所で 5 日間を過ごすのはとても不安に思っていたのですが、その不安は初日ですぐに吹き飛びました。

このインターンシップの 1 番の魅力は、素晴らしい先生方と環境の下で最先端の研究に触れることができるということだと思います。先生方や研究室の方々は私たちが快く受け入れて下さり、原理や方法を丁寧に説明して下さいただけでなく、ちょっとした質問にも優しく対応して下さいました。さらに発表の指導までして下さい、この 5 日間で本当に多くのことを学び、成長できたと思っています。

そして参加者同士は、年齢や大学がばらばらでも生命科学への興味関心は共通して持っていたため、すぐに仲良くなることができました。同じ志を持つ同年代の学生と交流できるのも、大きな魅力の 1 つであると思います。また、講義やオープンラボもあり所属研究室以外の研究室も見ることができたので、CDB で行われている研究を余すことなく知ることができました。

今は、お忙しい中このような素晴らしい機会を設けて下さった研究所の方々と受け入れて下さった先生方に感謝の気持ちでいっぱいです。このインターンシップに参加しなければ得られなかったことが数多くあります。もし少しでも興味がある人がいれば、思い切っただけで参加してみるべきだと言いたい程、最高の暑い 5 日間でした。



研究発表会に臨む鈴木絢診さん（左）、浦川李花さん（中央）、鈴木瑞人さん